

LAN録画につきましては、必ず「有線LAN」にて接続、設定をして下さい。
それ以外の方法では正常に録画されないことがあります。

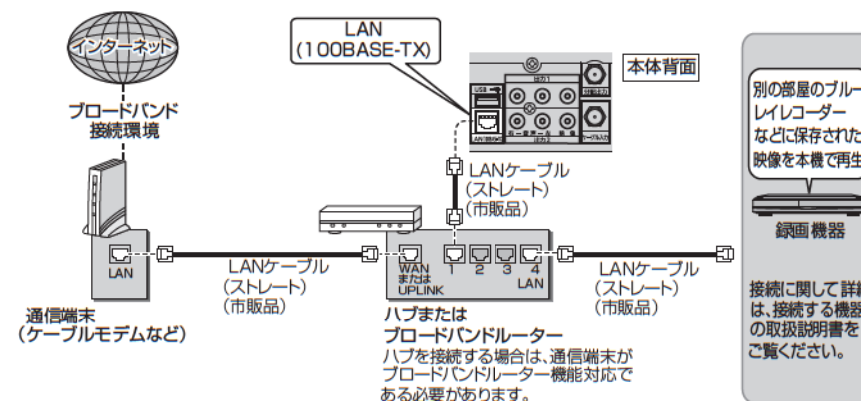
ネットワークへの接続

インターネット(ブラウザ)をご利用いただく場合、本機のLAN(100BASE-TX)端子をお使いのブロードバンド環境へ接続してください。また、お部屋ジャンプリンクをご利用いただく場合は、本機と対応機器とのネットワーク接続が必要です

■ブロードバンド環境により必要な機器と接続方法が異なります。

- ケーブルモデムと接続するためには、ご加入のケーブルテレビ局と新たにご契約が必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

有線LANのとき 無線LANの接続例については46ページをご覧ください。



■接続後は、必ずネットワーク関連設定(58～63ページ)を行ってください。

お願い

- ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が10BASE-T/100BASE-Tでもご使用いただけます。
- 100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

お知らせ

- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ポータルサイトの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTH)でのブロードバンド環境が必要です。
 - 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
 - PLC※1を使わずにLANケーブルまたは無線LAN(TZ-LS300PIは別売アダプター)でのご使用をおすすめします。
- 本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 本機に接続したDHCP※2でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。

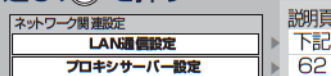
※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

ネットワーク関連設定

本機をネットワーク接続するための設定です。

- TZ-LS300Pの場合、無線LANの設定は、無線LANアダプターを接続してから行ってください。(p.46ページ)
- TZ-LS300PWAはAOSS方式に対応していません。(品番は本体底面のラベルでご確認ください。)
- 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

- 1 設定ボタンを押す
- 2 ▼で「設定する」を選び、決定を押す
- 3 ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、決定を押す



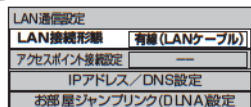
- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

LAN通信設定

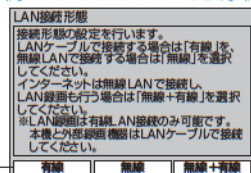
- 4 ▼で「LAN通信設定」を選び、決定を押す

有線/無線LANの設定

- 5 ▼で「LAN接続形態」を選び、決定を押す



- 6 ◀▶で設定を選び、決定を押す
<例>TZ-LS300PWの表示例



- 有線 LANケーブルで接続の場合
- 無線 無線LANで接続の場合
- 無線+有線 インターネットは無線LANで接続し、LAN録画も行う場合(TZ-LS300PWのみ選べます。)

アクセスポイント接続設定

LAN接続形態で「無線」または「無線+有線」と設定した場合に必要です。

- 5 ▼で「アクセスポイント接続設定」を選び、決定を押す



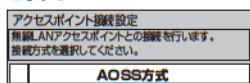
- 6 確認画面が表示されたら決定を押す
● アクセスポイント接続設定の画面が表示され、現在の接続設定と接続状態を確認できます。

- 7 ▶で「いいえ」を選び、決定を押す
● 設定しない場合は「はい」を選ぶと前面に戻ります。

AOSS方式の場合

- TZ-LS300PWAはAOSS方式に対応していません。
※メニューに「AOSS方式」は表示されません。

- 8 ▲▼で「AOSS方式」を選び、決定を押す



- 9 アクセスポイント(無線LAN親機)の「AOSS」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

AOSS対応ランプが点滅したら、決定を押す

アクセスポイント(無線LAN親機)により、操作方法・ボタン・ランプなどは異なります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

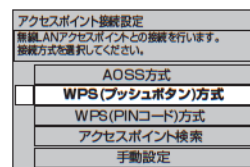
設定がはじまります。

- 10 「アクセスポイントへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定を押す

LAN録画につきましては、必ず「有線LAN」にて接続、設定をして下さい。それ以外の方法では正常に録画されないことがあります。

WPS(プッシュボタン)方式の場合

- 8 ▲▼で「WPS(プッシュボタン)方式」を選び、決定を押す



- 9 アクセスポイント(無線LAN親機)の「WPS」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

WPS対応ランプが点滅したら、決定を押す

アクセスポイント(無線LAN親機)により、操作方法・ボタン・ランプなどは異なります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

設定がはじまります。

- 10 「アクセスポイントへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定を押す

WPS(PINコード)方式の場合

アクセスポイント接続設定の画面で「WPS(PINコード)方式」を選び、決定を押す

- WPS(PINコード)方式に対応した無線LANアクセスポイントが表示されます。
- ▲▼で接続したいアクセスポイントを選び、決定を押すとPINコードが表示されます。PINコードを接続したいアクセスポイントに入力してください。
- 接続機器へのPINコードの入力については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索の場合

アクセスポイント接続設定の画面で「アクセスポイント検索」を選び、決定を押す

- 本機でスキャンすることができた無線LANアクセスポイントが表示されます。
- ▲▼で接続したいアクセスポイントを選び、決定を押すと暗号キーの入力画面が表示されます。暗号キーを入力してください。

手動設定の場合

アクセスポイント接続設定の画面で「手動設定」を選び、決定を押す

- 接続するアクセスポイントのSSID、認証化方式、暗号化方式、暗号キーを画面に従って入力してください。入力内容がアクセスポイントと違う場合は、接続できません。

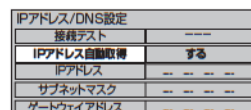
IPアドレス/DNS設定

- 5 ▼で「IPアドレス/DNS設定」を選び、決定を押す



- 6 DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

- 1 ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定を押す



- 2 確認画面が表示され、◀で自動取得「する」を選び、決定を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

次ページにつづく▶▶▶

ネットワーク関連設定

IPアドレスを手動で入力するとき

- ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	----
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	----
サブネットマスク	----
ゲートウェイアドレス	----

- 確認画面が表示され、◀▶で自動取得「しない」を選び、を押す

- ▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、を押す

- ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(IPアドレス)>

IPアドレス設定	
①-④ ボタンを使って、IPアドレスを入力し、「決定」ボタンを押してください。何も入力しないで「決定」ボタンを押すと、設定を削除することができます。	
192.254.	88. 58
(国)	(国) (国) (国) 1文字削除

IPアドレスを修正するときは (1文字削除) で消去後に入力してください。

IPアドレス設定	
設定したIPアドレスを登録しますか?	
IPアドレス	192.254. 88. 58
はい	いいえ

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。(☞ 61ページ)

7 DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

- ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、を押す

DNS-IP自動取得	
プライマリDNS	---
セカンダリDNS	---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

- 確認画面が表示され、◀▶で自動取得「する」を選び、を押す

DNSアドレスを手動で入力するとき

- ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、を押す

DNS-IP自動取得	
プライマリDNS	---
セカンダリDNS	---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

- 確認画面が表示され、◀▶で自動取得「しない」を選び、を押す

- ▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、を押す

- ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する
<入力画面例(プライマリDNS)>

プライマリDNS設定	
①-④ ボタンを使って、DNS-IP(プライマリ)を入力し、「決定」ボタンを押してください。何も入力しないで「決定」ボタンを押すと、設定を削除することができます。	
255.255.255.128	
(国)	(国) (国) (国) 1文字削除

IPアドレスを修正するときは (1文字削除) で消去後に入力してください。

プライマリDNS設定	
設定したDNS-IP(プライマリ)を登録しますか?	
DNS-IP(プライマリ)	255.255.255.128
はい	いいえ

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

- 59ページ手順⑥のとき「接続テスト」を選び、を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	----
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	----
サブネットマスク	----
ゲートウェイアドレス	----

OK	接続が完了
宅内機器使用可	本機とホームネットワーク回線の接続が完了
テスト中	テスト中
NG	ブロードバンド環境への接続(☞ 45,46ページ)の確認を行い、58ページからの設定を確認して再度テストしてください。

ゲートウェイアドレスとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。(例: 192.168.0.1)

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例: 255.255.255.0)

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を設定する

ネットワーク接続された録画機器(DLNA対応機器)の録画番組を見るための設定をします。

- を押す
- ▼で「設定する」を選び、を押す
- ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、を押す
- ▼で「LAN通信設定」を選び、を押す

ネットワーク関連設定
LAN通信設定
プロキシサーバー設定

- ▼で「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を選び、を押す

LAN通信設定
LAN接続形態
アクセスポイント接続設定
IPアドレス/DNS設定
お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定

本機の名称

本機の機器名を変えることができます。

- ▼▲で「本機の名前変更」を選び、◀▶で機器名を選ぶ

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定
本機の名前変更

